

第 4 1 回
神 奈 川 県
美 術 展

T h e 4 1 t h K a n a g a w a A r t E x h i b i t i o n 2 0 0 5

第41回 神奈川県 美術展

The 41th Kanagawa Art Exhibition 2005

1 期展 [平面立体] 平成17年9月7日(水)－9月18日(日)

2 期展 [工芸・書・写真] 平成17年9月21日(水)－10月2日(日)

会 場 神奈川県民ホールギャラリー

厚木巡回展 平成17年10月5日(水)－16日(日)

休館日:10月11日(火)、12日(水)

会 場 厚木市文化会館展示室

座間巡回展 平成17年11月9日(水)－20日(日)

休館日:11月14日(月)

会 場 ハーモニーホール座間ギャラリー(座間市立市民文化会館)

主 催

神奈川県美術展委員会

神奈川県民ホール[(財)神奈川芸術文化財団]

神奈川県

共 催

(財)厚木市文化振興財団

ハーモニーホール座間[(財)座間市スポーツ・文化振興財団]

協 賛

(財)神奈川県美術奨学会／(財)はまぎん産業文化振興財団／

(学)大塚学院／神奈川県文具事務用品団体連合会／(株)ニコン

後 援

神奈川県市長会／神奈川県町村会／神奈川新聞社／NHK横浜放送局／

テレビ神奈川／TVKエンタープライズ／FMヨコハマ

ごあいさつ



今年も、多くの皆様から意欲あふれる作品をご出展いただき、神奈川県美術展を開催できますことを、主催者の一員として心からうれしく思います。

昭和40年の第1回展開催以来、今年で第41回を迎える神奈川県美術展は、県内最大規模の歴史ある公募形式の総合美術展です。神奈川にゆかりのある方ならどなたでも出品できる展覧会として、芸術家を志し研鑽を積んでおられる多くの方々に作品発表の機会を提供してまいりました。この展覧会での入賞を契機に、全国規模の美術展で入選を果たされるなど活躍の場をさらに広げられた作家も少なくありません。また、趣味として創作活動に取り組むアマチュアの方々にとっても、この美術展への入賞、入選は大きな励みになっていると伺っております。

今回も、平面立体、工芸、書、写真の各部門に、合わせて1,800点近くの多数の応募を頂き、その中から、厳正な審査を経て選ばれた入賞、入選作品548点が展示されています。素晴らしい作品の数々は、ご来場の皆様に大きな感動をもたらし、神奈川の芸術水準の高さを改めて認識していただけるものと思います。

近年、一人ひとりが心に潤いと安らぎを実感でき、生きがいを持って暮らすことのできる地域社会の実現が求められており、その中で、文化芸術は今後ますます大きな役割を担っていくものと期待されています。

県といたしましても、県民の皆様の自主性や創造性を大切にしながら、県内各地で多彩な文化芸術活動が花開く環境づくりを進めております。この美術展の開催を通して、県民の皆様の文化芸術活動がさらに活発になり、個性豊かな地域文化の発展の契機になることを願っております。

最後に、本美術展の開催にあたり、ご尽力をいただきました関係の皆様にご心からお礼を申し上げます。ご来場の皆様におかれましては、新進美術家の力作の数々を存分にご堪能いただければ幸いに存じます。

平成17年9月7日

神奈川県知事 松沢 成文

ごあいさつ



昭和40年に始めました神奈川県美術展は、今年で第41回の展覧会を迎えることになりました。新進作家の登竜門として、また多くの優れた美術家を輩出してきた県内随一の公募美術展として、長く県民に親しまれ、本県の美術振興に貢献してまいりました。このことは、ひとえに、多くの出品者の皆様、関係者の皆様の熱意とご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

41回展では、平面立体、工芸、書、写真の全4部門に1,004人、1,774 点の応募があり、各部門の厳正な審査の結果、485人、548 点の作品が選ばれました。今回は例年より多くの方々が入選され、いすれ劣らぬ優れた作品が数多く展示されております。

美術作品は、人々の生きる時代を、そして一人一人の人生の瞬間を映し出す美しい鏡であると考えます。今回は惜しくも選にもれた皆様をはじめ、ご応募いただいた全ての皆様の創造する心、作品一点一点に敬意を表するとともに、これからも県美術展において、盛んな切磋琢磨、交流が行われることを祈念いたします。

なお、この度の展覧会で厳正かつ丁寧な審査にあたられた審査員の皆様と、県美術展の運営に専門的な立場からご助言をいただいた県美術展委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

また、特段のご支援を賜りました財団法人神奈川県美術奨学会様、財団法人はまぎん産業文化振興財団様、さらに、各賞を賜りました学校法人大塚学院様、神奈川県文具事務用品団体連合会様、株式会社ニコン様、そのほか関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成17年9月7日

神奈川県美術展委員会委員長 原 範行

| 1 期展

平面立体

受賞作品目録

平面立体

大賞	三原奈津子	相模原市	IN MY CLOSET <melting times>
準大賞	栗原 優子	府中市	花火
特選	小野 沙織	相模原市	メマイス ルホド ノカタチ
特選	塩川 彩生	横浜市	human
特選	大石 泉	藤沢市	透木 -SUKIGI-
県議会議長賞	金谷ゆみえ	横浜市	ADESSO
県立近代美術館賞	山岡 朋子	大田区	無題
美術奨学会賞	小平 功一	厚木市	I'm going home
はまぎん財団賞	松沢 真紀	横浜市	工事中

※ 美術奨学会賞は、(財) 神奈川県美術奨学会から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される奨学金です。
※ はまぎん財団賞は、(財) はまぎん産業文化振興財団から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に贈られる賞です。
※ 市町村名は現住所です。

入選作品目録

平面

芹澤 肇	華芯
吉田 光児	幾年
小山 峰子	肌色
西尾 真代	室内風景 床の間
岡本あずさ	刻の森
星 美加	記憶の中の風景 I
真木 欣一	雑踏の駅 2
高桑康二郎	A redundantly redundant redundancy. Or the power of storytelling.
木村 真彦	月の森
千葉 和雄	クロス・バラード A
菅沼 稔	penetration.48
柴崎 友美	誕生日
船越 郁美	通り過ぎていく何か
日紫喜洋子	a hole in the ground
角谷沙奈美	ゴルファー
川村 紫朗	ドックヤードガーデン
佐藤 英行	玉虫
小島 翠	'05 - 1 ファミリー
宇田川桂子	現 III
村杉 哲子	響 (05 - II)
藤沢 隆夫	GARDEN
渡辺 幸子	過ぎ去りし日 I
今村 綾	leafy
茂野 生世	記憶 A
平野のり子	from Spring to Autumn
小澤はるみ	Intimacy - Q
安田 文夫	LIVE IN CHIGASAKI
河田智恵子	白・黒
鈴木 かよ	basic iii
立原真理子	法隆寺
建部ひろ子	成長するもの
田中 明子	帰港
布野 暁子	墟 (きょ)
八木 厚紀	山の民
戸田 哲雄	石坂
山崎 朋子	太陽を持つ人
土屋 雅敬	あとかた - Raigo・右

服部 良美	生成 I
山縣 寛子	Nightmare
浅井敬一郎	海底のフォートリス
佐山 優子	風になる
新恵美佐子	花
田家ハルミ	夢がたり I
戸田みどり	湧水
目黒 敏子	生
上林 礼和	動物のいる風景 - 2
鈴木紀久栄	旅の行方 - II
荒井三重子	水がめを運ぶカトマンズの男
福井 幸雄	カラオケ B
澤田 サチ	病める母、その苦しみ
湯川 列晟	通過と閉塞・構造態
岸上嘉世子	雲をつかむ話 I
横山 孝司	気なる樹木
島田 勇	転移の総合
山田聖二郎	時間を食べる怪物が棲むここでは、 詩人もすっかり記憶できないでいる。
石井いつ子	BAY AREA (JOURNAL) II
村上由紀子	山彦 (やまびこ) 2
井上 未来	Tomorrow (そこにある (2))
飯村 優介	地・ヒトイキテ
穂積 千幸	Yokohama
増田 真人	春の海
今村 松美	WORK II
田辺いづみ	逆光のなかで
国方 房子	時の記憶 (I)
石田 澄江	家族
石原 瑞穂	SHADE
金城 盛之	天稚御子
鷹野 健	Dismantlement
西川洋一郎	PASSAGE 遷
樋口 晃子	メメント・モリ
高橋美恵子	響
藤井 忠行	想
関水 英司	幻想即興詩・朝
伊藤 彰規	Passage No.509

伊藤 秀雄	Work D - 3
佐藤 陽	樹霊 II
稲本 陽子	'05 Jun.
大田 修司	宇宙への旅 (1)
浜田 澄子	Willow dance
米川 珠美	inscribed 05 - 2
大城 勝	day painting11 "green"
新中いずみ	視線の行方
森 みか	長椅子に座る
山本 邦明	ニュータウンの午後
大野 麻子	海を見に
折笠 晴美	2005・たき火
津村 仁美	花<連想>
佐藤 潔	出現

立体

村松 俊夫	A study of tanGible - N
横倉 裕司	ANITA
高橋ノブテル	祭
津田竜之介	封印
大野 綾子	宮
岡田健太郎	Gappa - ryu -
山本 雄介	威風堂々
若森 奏	くりかえず、あつまる、しくみになる
山本 秀明	生痕
新井 恵子	横浜赤レンガ倉庫-レイヤーの交換
鈴木 滋子	バスタブ
村井 基夏	柘榴
金 景賢	天上の起動
亀田亜紀子	アプローチ
田中 幹	walker
柳田有希子	Memories

平面立体

誰一人意識して行なったわけではないが、結果として、感覚的なものが優位に立った審査となったと思う。若い応募者の作品がほとんど上位を独占したことにもそれは表れている。そういう時代なのだろうし、そういう場なのであろう。とくに場の意味については考えさせられる。画廊の個展であれば、もっとたくさんの作品を、時間をかけて見せることによって、自分の造形を貫く原理や奥底に潜む個性も伝えることができる。だが、短時間で評価を判定されてしまう公募展では、よくも悪しくも、直接的なアピール力、感覚的な魅力を働かせることが大切になる。複数出品をした応募者が多いのもそのせいであろう。それによってより強い印象を与えると同時に、少しでも自分の制作に流れる時間の持続に見る者を引き寄せようという出品者の気持ちがあるような気がした。そうした限界もあるとはいえ、審査もひとつの対話である。その対話が、ひとりでも多くの出品者の励みになってくれたらと思いながら審査を行なった。結果としては、委員長の小気味良い采配もあってか、わだかまりや言い残しの気分もなく、気持ちのよい選定結果に到達できたと思う。なにより、全体として出品作のレベルが高く、終始、見る側に快い緊張感を与えてくれたことに感謝したい。

大賞の三原奈津子「IN MY CLOSET <melting time>」は、迫力ある重量級の大作で一致して高い評価を獲得した。衣服のドレープを思わせるレリーフを木とウレタンで成型した形の人工的な感触。その上にイエロー、ブルー、ピンクなどのシルエットがプリント柄のように描かれて、力感と表層的な軽さのバランスが若い魅力を発散していた。

いっぽう準大賞の栗原優子「花火」はしびれ本格派の魅力。立体の出品作の中でもっとも高い評価を獲得、きわどく大賞も競いあった。石を彫るという立体造形の基

本がしっかりしていて、その充実がすぐれた結実となっている。なぜこれが「花火」なのか作者に聞いてみたい気がするが、そんなことよりも「そこにある形」がよい。

特選の小野沙織「メマイス ルホド ノカタチ」は画面巧者の作品。絵柄のある面とグラデーションのある面とを微妙に重ね合わせて視覚的な深みを演出している。同じく特選の塩川彩生「human」は、大きな画面に墨のたらしこみによって描かれたかのように見える人間像。ホルスト・アンテスの「頭足人」を連想させるふたつのイメージの並置による構成が説得力をもっていた。3人目の特選、大石泉の「透木-SUKIGI-」は銅による立体作品。銅を反復的、集積的に用いる表現はケメニーの作品を思わせる。

県議会賞の金谷ゆみえ「ADESSO」は、完成した美しさをもっている。鉄あるいは陶器の肌を思わせる画面作りの美学は安心してみることができ、いまでは古典的とすらいえる20世紀絵画の本流に属している。

近代美術館賞の山岡朋子「無題」は最初から不思議な魅力を感じさせた。絵画のエロスとでもいおうか。ほんのりとラベンダーがかかった白地に単純な立方体と柔らかな毛羽立ったような不定形が漆黒のみによって描かれている、それだけの絵。それでいて黒の深み、質感の差異の豊かさが、「絵画」をなりたさせている。

美術奨学会賞の小平功一「I'm going home」は、写真イメージを画面に転写しながら、それを象徴的なイメージに転化。日常の、黄昏の頃にはどこにでも見かける光の色合い、少年の姿であるが、ある情感を引き起こす。

はまぎん財団賞の松沢真紀「工事中」は、スケールの逸脱、上下の方向性の攪乱など、エッシャー風のトリックを取り入れている誠実な描写力の作品となっている。

(太田泰人)



大賞 IN MY CLOSET <melting times> : 三原奈津子

アクリル、木、ウレタン 227 × 167 cm

[略歴]

1982年 札幌市に生まれる

2005年 女子美術大学絵画学科洋画専攻卒業

女子美術大学美術研究科修士課程美術専攻洋画入学

[出品歴]

2002年 女子美奨励賞受賞

2005年 女子美美術資料館収蔵作品賞・加藤成之記念賞受賞



準大賞 花火：栗原優子

伊達冠石 125 × 75 × 50 cm

〔略歴〕

1983年 府中市に生まれる

2002年 女子美術大学短期大学部入学

2004年 女子美術大学短期大学部卒業 卒業制作賞
女子美術大学芸術学部立体アート学科編入学

〔出品歴〕

2004年 国展出品

2005年 ワコルネアワード naminamiART展 入選



特選 メマイス ルホド ノカタチ：小野 沙織



特選 human : 塩川 彩生

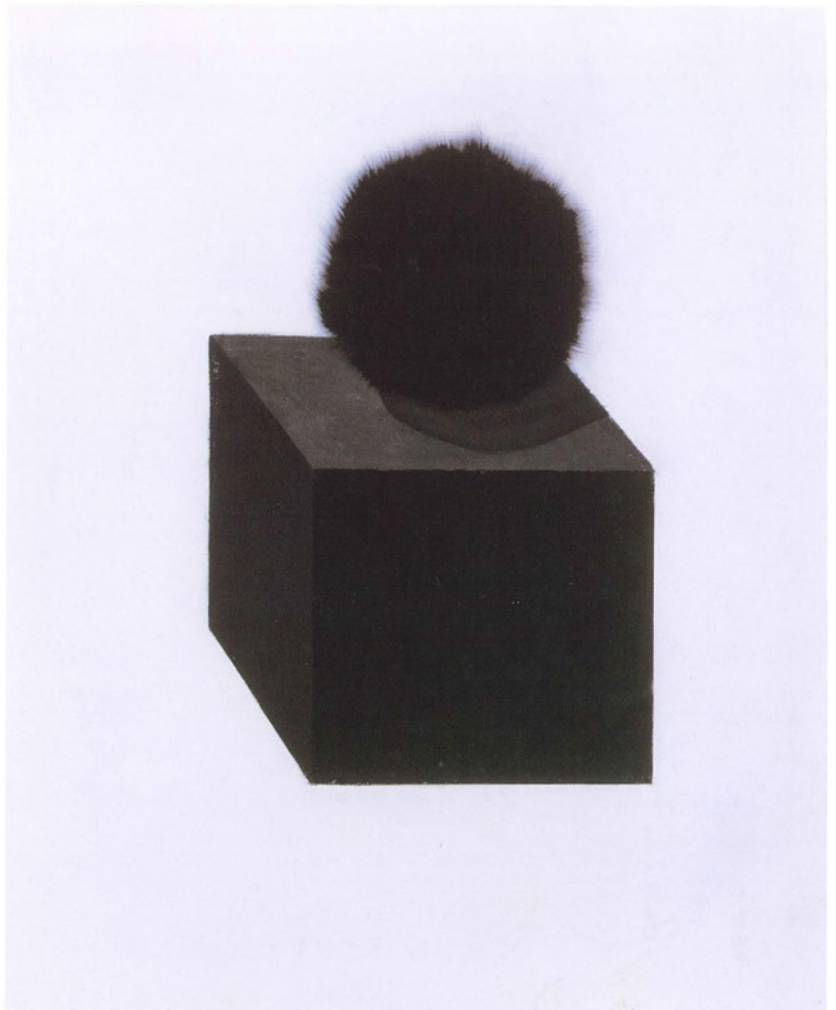


特選 透木 - SUKIGI - : 大石 泉



県議会議長賞

ADESSO : 金谷 ゆみえ



県立近代美術館賞
無題：山岡 朋子



美術奨学会賞 I'm going home：小平 功一



はまぎん財団賞 工事中：松沢 真紀

| 2期展

| 工艺·书·写真

受賞作品目録

工芸

大賞	尼子 裕美	横浜市	EXODUS
準大賞	青野 千穂	横浜市	「淹」と「進」
特選	亀田 裕延	横浜市	暁の祈り
特選	白井さかえ	川崎市	フィナーレ
特選	後藤なおみ	川崎市	星雲
特選	亀井 知子	横浜市	涙の想い
美術奨学会賞	今林三恵子	横浜市	希 (のぞみ)
美術奨学会賞	香取 孝彦	横浜市	花器 魚水 (close friendship)
大塚学院賞	大久保静香	横浜市	ぬいとり紋織 海の結晶

書

大賞	中村 暁雲	横須賀市	毛序詩
準大賞	森廣 青寿	川崎市	いのちもて
特選	鶴岡 慎舟	横浜市	猛虎行
特選	片山 静苑	藤沢市	劉商詩
特選	山本 枝折	横浜市	三好達治の詩 チューリップより
特選	市川 春聴	秦野市	秋の歌
美術奨学会賞	新井 青谿	横浜市	積雨輞川荘作
美術奨学会賞	小山 荘雪	相模原市	舟次鐔津
神奈川県文具事務用品団体連合会賞	宮川 昌翠	横浜市	李孝謙の詩

写真

大賞	古郡 和敏	茅ヶ崎市	原宿寸描 (2枚組)
準大賞	小山田幸雄	藤沢市	思い出の島
特選	原田 健児	横浜市	花と道具 (5枚組)
特選	落合 知子	相模原市	光ファンタジー (3枚組)
特選	市川 洋子	座間市	朝の光
特選	今野 良一	横浜市	海遊
特選	長尾 宏	横浜市	放光 (3枚組)
特選	奥田 恭子	横浜市	遊泳 (3枚組)
美術奨学会賞	市川 雅章	横浜市	海岸通りの八百屋
美術奨学会賞	渡部 満	厚木市	消えない記憶 (4枚組)
ニコン賞	渡辺 脩子	横浜市	五月ばれ

※美術奨学会賞は、(財)神奈川県美術奨学会から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される奨学金です。

※大塚学院賞は、(学)大塚学院から工芸部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※神奈川県文具事務用品団体連合会賞は、神奈川県文具事務用品団体連合会から書部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※ニコン賞は、(株)ニコンから写真部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※市町村名は現住所です。

入選作品目録

工芸

石成 富栄	泥彩練上玻璃光大壺
糸井惣四郎	縄文譜=唐招提寺鷗尾三耳壺
山口 迪子	睡蓮
大西 清治	備前緋襷花入
岡屋 郁子	海の詩
宮崎 恭子	鉄泥刷毛目花生
田中 秀男	黒の魅惑
金子三女子	ぶどう唐草
山下 龍二	乾漆朱塗食籠
青木 藻美	水面
前原 祥子	色絵磁器烏瓜図
小川 廸子	心の道
坂本采季香	悠翔
安部 邦子	いもがら紋扁壺
浮田 直子	黒線文様花器
宗像 昭	熔化化粧大鉢
岸 誠	象嵌線文花器
大野 澄子	小花掻き落し壺
天野 奈迦	無限
五十嵐通代	和解
西山 武	緑色粒状班文壺
明知萬之助	梅花紋「天空」
青木みさ子	象嵌芥子文バードバス
佐々木文枝	デコパージュ
岡田 光子	あしたには
飯田登美子	ろうけつ草木染 春三様
島本 登俊	万葉の風 (A)
篠原 安紀	バラと雨
狩野サキエ	暮色
井上美佐子	未生
久保寺春男	備前「壺」
黒澤 和子	感じるままに。。。
西山 義彦	輪花胴紐櫛目鉢
岩崎 牧子	古城
佐藤 幸子	day by day
金子 明子	雲
曾根原 緑	緋布
吉岡 末子	花だより

十倉 滋子	三つの四角
安藤 直行	黒釉変大皿
澤部 寿宏	和竿 (キス竿、替穂)
梶原 有紀	青釉文刻大皿
木寺由布子	翡翠の残像
山口 浩二	赤の旋律
松井 敏保	墨流深鉢
一法師和晃	練抜葉文皿
原田 克治	糠白青磁釉組鉢
後藤 弘吉	結晶釉。夢、雨上りの金閣寺
深野 怜	瑠璃釉線彫壺
宮崎 純子	パエオニア サッフルティコサ
池田 節子	響
峯尾 直明	内包
三上 光敏	備前緋襷耳付花入
釣 敬子	切子花器
鳥海 正次	備前花器
高橋 悟	灰釉掛分組鉢
松岡 英恵	鉄釉掛分大鉢
工藤俊太郎	備前壺
川嶋 良一	ノスタルジー
三原 正嗣	吹・カット 栲Ⅲ
小野里澄人	宙吹ガラス大皿「暁星」
黒崎 温子	はこぶね
田中 成士	黄瀬戸組鉢
石田希代子	青い群れの夢
松本 裕代	湖にて
山崎 直子	魚文組皿
岩脇 陽子	光の渦
市岡 真治	ハラチガイ
友井由美子	新・江の島水族館
内野 勝雄	青白磁鉢
梅田 千晶	層文様漆革器
遠藤 寿子	風韻
田中 良枝	薬玉
岩谷しげ子	ぼたん
高橋 富子	こぶし
永島 秀之	ハスとカワセミ

伊藤 啓子	手彫硝子大皿「群生」
山田 欽也	布目紫式部文扁壺
夏井美智子	布目綾文四方組皿
松本 道子	岸辺の木立
大原 乾資	麻布板締染
村田 淳	忍
岡崎まりこ	脱ぎ去るとき
渡辺 稔浩	風の窓
上原 圭子	BETWEEN…
そのべよしこ	野の中で
石川 文貞	志野扁壺 峰の雪
馬場 芳道	愛の詩
鈴木 隆	青瓷花器
植松 次男	風ととけあうとき
代田 幸江	中次 = 波 =
森 里津	柿の色
渡辺 昭治	シャンパンクーラー 宙吹き「オーシャン」
北林 和江	さき布おりコート
水橋さおり	涼＊きんぎょ
寺本沙香江	夢珊瑚
佐野 智子	花の蓋壺
大槻 洋介	Gate

書

楠井 杏花	山居月夜
日吉 青溟	清俸橋
塚田 濤石	李頎詩
長谷川清邦	本阿弥切
高山 畦亭	和歌七首
田中 晶悦	紫式部の歌
川手 敬湖	新古今和歌集の歌 五首
岡村 香酔	良寛詩
池田佐和子	忘らるる
池上 恵峰	これやこのゆくも… 他九首
渡邊 景城	白楽天詩
鈴木 良子	わたの原
中川 雪花	高青邱
山下 壽艸	古城
安藤 憲翠	三十六歌仙より
小林 華陽	ひさかたの
三谷 嶽雨	張謂詩 湖中對酒作
齊藤 梨芳	百人一首
山岸 青城	この山に…
中村 霽澄	臨山家心中集
宮田 静鏡	本阿弥切 小野道風
明石 清子	針切
吉村 祥貞	題畫
町田 祥馥	劉嗣綰詩 三首
中町 祥紀	古風
菊池 祥賀	王渙洋詩 四首
松田 栖舟	雜詩 其二
柿沼 柏苑	帰園田居 五首
森 秀麗	曉渡平羌江歩上凌雲絶頂
吉永 幽徑	次韻叔父夷仲送夏君玉赴零陵主簿
吉川 理芳	雪望 他
上村 泊舟	思親汝州作 他
中山 壽香	辛丑歲七月赴假還江陵夜行塗口
兎澤 羊舟	月夜遊秋水橋岸
茂木 花舟	寒縫柳腰収未得
寺門 楊舟	鐵堂峽
奈良 静桜	晚至華陰
佐藤 清紫	朱彝尊雜詩其一

橋本	紫柳	経廐宝慶寺
横山	聖水	雙徑
深見	萌彩	家兄信宿焦山有寄 香山寺月夜 二首
二瓶	香苑	與孫豹人周星公住白鹿洞次迴流山
長谷川	清陽	答江進之別詩
葛西	虚舟	田家雜興其一
向後	瑛舟	岳陽晚景
青山	静月	七月二十一日有憶偶題
穴戸	静黄	含澗橋步月
小倉	清舟	萱草
酒寄	妖舟	田家雜興其一
荒川	涼舟	清江引清明
水川	小舟	夜眺
水川	芳竹	瞻涉
川上	雪人	杜甫詩 曲江二首
小山	翠謠	蘇東坡詩
宮崎	葭謠	許渾詩 凌歊台
山本	紅裳	章嘉禎詩 書座右
浅間	静江	柳沢健の詩
赤穂	恭子	朝ぼらけ
小塚	桃香	翰墨游戲
松尾	東軒	李白詩
伊藤	青光	百人一首より
井上	澄江	百人一首より
佐藤	青香	古今和歌集より
越智	麗川	秋懷
川名	睇心	李白詩 遊洞庭
道脇	晨仙	王沂詩
黒川	榮琴	楊萬里詩
青野	有美	三十六歌仙より
登坂	天夢	黃庭堅詩題槐安閣并序
平田	白鷺	宿詵公房曉起偶成
四季	茜歩	石蒼舒醉墨堂
吉澤	赫曄	島唄
松永	光鳳	三十六歌仙より
松本	亘正	王微詩
塩澤	鷺州	東歌
河又世津子		あざらけき

田辺	翠香	森のした露
片山	裕子	春霞
鈴木	青秀	王維詩
和田	静月	西句橋
梅澤	千甫	甲骨文千字文
島田	右史	晴
松尾	右翠	春回大地
菊島	右雪	慶雲昌光
菱田	右紫	牀前看月光
長野	菁溪	張著詩
浅岡	菖逕	蔡經詩
新	景園	高攀龍詩
土屋	景曄	何景明詩
藤野	菁浦	華察詩
鈴木	玉恵	清岡卓行の詩 石膏
三根喜美子		見付拓の詩 朝まだき
青野	直子	三宅惟子の短歌
小林美知子		西脇順三郎の詩
上野	春海	今川正樹の詩 秋の訴え
馬場	虹苑	茨木のり子の詩 秋
廣川	心齋	瀧口修造の詩 睡魔より
新美	輝美	北川悠仁の詩 栄光の架橋
藤田	純子	陽だまり
尾辻	佑子	正徹のうた
小川	恵舟	黄金の蝶
小倉	清子	空から
福本	泰子	尾崎左永子の歌
久村	拓司	井堂雅夫の文「心象の賢治」より
守屋	柊雨	新川和江の詩 あふれるもの
松本	弘子	浅野久美子の文 初夏の訪れ
平間	秀慧	海の意味
山士家啓子		厨子の念持佛
小林	千幸	与謝蕪村の句
森田	新菜	冬の窓外
平出	節子	陶山由利子のうた
片平	堯子	初秋の庭に
青木	湘堂	蜺汁
石井	睦	荒川加泉の詩

入澤 亮太	青山照子の句
松田 紀子	青山照子の句
中山 政子	山茶花の道
山本 清子	箕楨二の詩 花
宮地 晶子	陶山由利子の歌
下門 芳子	撫子の色
戸ヶ崎光子	もみぢ
飯淵恵美子	春爛漫の花の色
阿部 馨月	雀の子
矢島 虹周	百人一首
小原 蒼竹	賦得獨樹邊淮送人之京
佐々 蒼江	秋夕 鷺湖舟中翫月 二首
牛山 香流	簡文帝詩 晚景納涼
西澤 宥伯	干若濕詩 高郵湖
板越 蒼龍	杪秋獨夜
中村 蒼碩	吳蘭雪詩
庵 蒼淵	李考謙詩 題畫
神山 紅雲	杜甫詩
浅見 玲湖	王維詩
小林 堯霞	蘇頲詩
添田 紫苑	古詩
成田 紫鶯	恋の詩
飯田 容風	母がかたみ
野頭 莊雲	秋夜感懷
池田 莊春	題湖州慈寺
神藤 莊松	明詩客中秋夜
鈴木 天鳴	湖郷
鈴木 静耕	秋夕
木下 滔泉	賜觀燈詩
横山 翠扇	湧く水
小笹 総翠	寄題張著作青山隱居
武田 瞳処	杜甫詩
田村 京子	贈劉司戸賁
友部 静処	白居易詩
小竹 梅苑	張友石戸部得雷氏琴

写真

鈴木喜久郎	しもた屋
天野 眞稔	大道芸
関谷 盛男	切りとられた空間
中島 政治	キメター瞬
米山 悦朗	脈を取る男
庄司 精一	落葉と遊ぶ
野口 寛徳	事件
豊岡 保治	ホテル幻想
久保 良一	ウォータースクリーン
市川 綏	坊く・若者・青春 (3枚組)
野沢 敏晃	サロン ド ローズ
南 信一郎	落影錦帯橋
宇佐美淳一	姉妹
高野 好旦	碧水浄土 (4枚組)
新井 弘文	お母さんと僕 ータテゴトアザラシー
砂金 賢司	生生流転
笹尾 敏子	厳冬の子
金崎 功	笑顔
市川 正	柵田を守る
寺川 仁	自然観察 (3枚組)
渡辺 富司	イエメンの姉弟
三浦 京子	飛躍
鈴木 清	霧の湿原
中島 倍三	秩父異界 (4枚組)
小林 侑	路傍の造形 (2枚組)
今井 純子	遠き日 (3枚組)
松本 勝治	柵田の見廻り
小田柿雅彦	休日 of MM21
平野 定夫	ポピー
加藤 武	妖精
佐藤 忠	赤の印象 (2枚組)
足立原精司	湊沢カール of 秋 004
坂井 猛	桜の四季 (4枚組)
徳重 和子	駿馬
鯉登 勝彦	ファミリー
根岸 邦江	仲間はずれ
鈴木 安広	郷愁
雪江 博	港の光跡

大畑 礼	習作 都市の造形 (3枚組)
星山 庶治	夕照
三崎 陽久	お散歩
三谷 享	西馬音内盆踊りの女
藤城 京輔	仲良し
中村 守	富士の顔三面
岡田 禎博	アメリカ東部の晩秋
西沢一比古	樹霊の宿り
大西 紘昭	寢座へ
熊谷 俊雄	至福の瞬間
小野瀬由紀子	雲衣
蛭田 功	花模様 (3枚組)
金親 敏雄	都市幻想
嘉本 哲也	ビーチ
佐藤 健司	安息
浜田 雄二	カップル
河村 伴江	三男坊・ぼん太 (2枚組)
有賀 由一	免れた遺産 (戦闘機プロペラ用材) (3枚組)
伊東 康廣	四国遍路記 (4枚組)
南 幸子	氷結の湖面
占部 和代	朱い響き
秋元 允生	黎明
秋本 富男	冬のハイキング
鬼塚 紀子	窓の外
入江 成嘉	デジカメ時代
小沼 公子	それぞれの想い
黒野 秀子	海辺の女
福田 仁子	海が見えた
乾 清一	海外物干事情 (3枚組)
三上 光敏	五重塔 (3枚組)
市川 哲男	Yesterday (3枚組)
鈴木喜三郎	驚づかみ
清野 義雄	激華 (3枚組)
佐藤 幸悦	初冬の横浜二景 (2枚組)
田中 夏	波に遊ぶ
和田 幸夫	ハイテーン
大久保忠宏	Image up The Tokyo Bay (3枚組)
下井 良一	青の館

安藤三希子	清流
三枝 昌弘	飛び立つ
庄司雄一郎	森の詩 (3枚組)
大森 知子	はま風 (3枚組)
仲俣 勝子	静寂 アイルランド (イニッシュモア島)
神田 誠	親子愛
高橋 洋子	閉ざされた追憶 (3枚組)
本間 英夫	厳冬田代池
吉田 晴彦	一抹の不安 (3枚組)
馬場 純子	不在のとき
脇本 叔子	払暁
福田 幸子	女瞳私 (おんなどうし) (LEAF)
長田 弘子	紅映ゆ 中華街 (3枚組)
小島 満男	初雪
椎名美由紀	夏の日に
高橋 良行	タイダムの子供
西尾 絢子	納涼の夕べ
若井 昭二	天まで上がれ
鈴木 康代	懐古の店
冷水 三郎	新緑のブナ

審査講評

工芸

今回は出品者199人、出品点数247点、うち107人、107点が入選した。ほぼ昨年並みであった。ちなみに受賞者は9人9点であった。

全体の印象としては、すいぶんと作品の質が平均化し、中間的なレベルに作品の質が集中した感がある。あまりにも低いものがなくなったが、一方で高いレベルのものもそう多くはなかった。

それでも受賞作には力作がそろった。

大賞の尼子裕美「EXODUS」(陶芸)は、尖底型の大きな深鉢だが、シンプルな形がかえって力強さを印象付ける。よく吟味された質感の表出がモダンな色彩を持った表面感情を作り出している。「EXODUS」とは出発、出国を意味する言葉だが、もともとは旧約聖書の「出エジプト記」のことである。何かそうした人間の深い感情が込められてもいるようだ。

準大賞の青野千穂「「淹」と「進」」(陶芸)はユニークなフォルムが面白い。生々しい有機物体が、全く逆の階段状の幾何学的形態の上でうごめいている。「淹」は氣息奄々(淹々)の「淹」。とどこおるとかいきたえだえのさまを言う。「進」はその逆。作者の心境か心象風景か、まさにそのままの作品である。しかしその生命体の「淹々」たる様を、そのまま描くことはせず、形として、造形として昇華させたことがポイントである。有機体にモダンな色彩とユーモラスな斑点模様を施したことが、この作品を現代の息吹を伝える新鮮な造形として結実させた。

亀田裕延「暁の祈り」(木芯桐塑、人形)、白井さかえ「フィナーレ」(ガラスなどのモザイク)、後藤なおみ「星雲」(陶芸)、亀井知子「涙の想い」(銀、ジュエリー)の4点が特選に輝いた。「暁の祈り」は表現、技術、素材など、熟練した高いレベルが良く示されたものである。「フィナーレ」は細かい技法の積み重ねによって華麗な花火の世界を良く表現した。「星雲」はシンプルな土の立ち上げと様々な釉薬などを駆使したモダンな質感の表出、「涙の想い」は現代に通ずる形の面白さがそれぞれ評価された。

美術奨学会賞の今林美恵子「希(のぞみ)」(鍛金)、香取孝彦「花器魚水(close friendship)」(鍍金)は、それぞれ金工技法の特色を良く生かした作品である。「希(のぞみ)」は鍛金技法のシンプルは用法が静謐な無人の風景表現にぴったり合っている。「花器魚水」は、二つの魚が一体となって形を構成しているが、その点がかつて日

本の意匠に大きな刺激を受けジャポニズムの工芸を制作したフランスの工芸家たちを髣髴とさせる。実にユニークで面白い。

大塚学院賞の大久保静香「ぬいとり紋織り 海の結晶」(染織)は色彩の選択、組み合わせ、そして控えめな紋織り模様の配し方が、実に品格高い布の世界を作り出している。

こうした受賞作以外にもいくつかの作品が賞選考の俎上に乗った。またそれ以外にも少なからぬ作品が審査員の注目を浴びた。これからのなおいっそうの活躍を祈りたい。

(金子賢治)

書

今回は漢詩をモチーフとした中村暁雲の作品「毛序詩」が大賞に選ばれた。受賞作品は9点。そのうち6点が漢字、2点がかな、近代詩文書が1点ということに決まった。前回に比べかなと近代詩文書の応募がやや少なかった。今回の受賞作品に共通した特徴をあげるといずれのジャンルの場合も長條幅の作品だったことである。受賞作品だけでなく応募作品(今回は全体で241点)の9割近くが長條幅の作品ではなかったかと思う。何故長條幅の作品が多いのか、その理由は定かではないが、公募展としては多少物足りなさを感じた。

審査は前回同様7名の審査員(委員長川口流坡)によって行われた。各審査員は1から5までの票を各作品について掲示し、まず応募作品241点から入選158点(得票18点から22点)を選んだ。23票以上の得票をえた36点を賞候補としたが、話し合いによってそれを13点に絞りこんだ。さらに賞候補次点の22票をえた作品を再見し、6点を賞候補に加え賞候補作品を19点とした。その後投票や挙手によりそのなかから9点の受賞作を決定した。

大賞の中村暁雲の「毛序詩」は漢詩文を縦3行に連書した作品だが、鋭い筆線と無理のない流動感の創造、余裕のある行間の設定などによって独自の緊張感を表出することに成功している。準大賞の森廣青寿の短歌をモチーフとしたかな作品はその短い章節の文字を縦長の空間に奔放に解き放ち伸び伸びした心地よい表現となっている。特選の山本枝折の三好達治の詩をモチーフにした長條幅の作品は自由な運筆により作品に獨自なリズム感を

作りだすことに成功している。神奈川県文具事務用品団体連合会賞の漢詩を主題とした宮川昌翠の漢字作品は漢詩表現の手順に不適切な点があるという指摘も一部にあったが、詩の表題の墨跡風な表現がユニークで支持されたと思う。

それにしても40回展では応募が前年比14点の伸びを示したのに対し、今回は逆に前年比21人減の241人の241点に留まったことは残念であった。なぜ応募のジャンルが漢字、かな、近代詩文書に偏っているのか疑問が残る。前回も触れたが、平面立体部門のように応募のジャンルの幅を広げより多様な同時代の書作品を受け入れ応募の漸減傾向に歯止めをかけ、さらに神奈川の書の伝統を踏えたテーマの設定など、より応募の底辺を拡げる方策の実施に関係者をお願いしたい。とにかく本展が書道人口大国の神奈川県に相応しい多様で意欲的な作品の多く見られる活気溢れる書展に発展していくことを大いに期待したい。

(生尾慶太郎)

写真

今回の応募状況は、出品者数249人、出品点数822枚で、昨年の40回展に比べると出品者数で33人、出品点数で116枚のマイナスであった。応募作品の内訳は2枚組が23点、3枚組が54点、4枚組が7点、5枚組が8点で、残り546枚が単写真となっている。1人で単写真を数枚や単・組を織り交ぜて出品している出品者も多い。

これら出品作品に対して江成常夫、大河原雅彦、木村恵一、河野和典、土田ヒロミ、浜口タカシ、村岡秀男の7名が審査にあたった。

審査経過はまず、全作品をテーブルに並べ、この中から各審査員がそれぞれ20点を選び出した(合計140点)。ここで1人1賞という原則に基づき係員がダブリをチェックし、それらを審査員が1点に絞る。2回目は選ばれた全作品約120数点の中から今度は各審査員が7点を選んだ。そして選ばれた49点を再び並べて大賞(1名)、準大賞(1名)、特選(6名)、美術奨学会賞(2名)、ニコン賞(1名)を順に決めていったのである。

各賞を決める前に、11点の入賞作品を前にして審査員からは、「今回はイマイチだな」という声が聞かれた。それはどういうことかと言えば、全体的にドキュメンタリータッチの作品、身近なスナップ作品、人間を捉えた作

品があまりに少なかったことが大きな原因と思われる。これは今、盛んに叫ばれている肖像権や個人情報保護法に過剰に反応している結果であることが見てとれる。これでは写真が本来持つべき多様で活気のある表現は生まれるはずもない。ハナから写真が否定されることはないのである。撮影者の真摯な態度と、いい意味でのマナーに基づいた撮影方法があるはずである。今、撮影者には避けて通るのではなくそういう作品作りにぶつかっていく努力が求められているように思われる。

大賞の古郡和敏「原宿寸描」はそういった意味からも真っ正面からダイレクトに被写体に向かっていった作品だ。その切りつめた画面は現代をものの見事に象徴化して見せている。そのストレートのパンチ力は他の作品を大きく引き離し、審査員全員一致の入賞であった。

準大賞の小山田幸雄「思い出の島」はめずらしく審査員の票が割れ、意見が戦わされた。反対意見はあまりに表現が素朴で訴求力に弱い、というものであった。これに対して賛同者は内容的にも表現的にもこれまでの写真的な評価を破るものであり現代的である、というものであった。それははとすると写真がステレオタイプ化した見せかけの強さに目を奪われがちである、という反省でもあるだろう。その平々凡々とした画面からは、高齢化社会の幸せとは何かとか、平和とは何かとかを見る者に考えさせる魅力がほのぼのと立ち上がるのである。

そういう点からすると特選の6点は静物ありスナップあり風景ありで、オーソドックスな観点からは秀作であったが、どちらかと言えば技術や表現方法が優先したきらいがあった。また奨学会賞の2点とニコン賞は小粒ではあるがピリリと辛さを持つ作品であった。

スペースが尽きたが数年前、当欄で「地方の時代と言われて久しいが、地方の元気はその地域の文化芸能に現れる、その意味で県展はもっともっと利用されるべきであり、活気ある場になって欲しい」というようなことを述べさせていただいたが、それは今も変わらない。県展は決して敷居は高くない。今回も入賞作品11点を含む入選以上の作品が107人169点も選ばれて賞状が授与されるのである。次回もふるって出品されたい。

(河野和典)



大賞 EXODUS：尼子裕美

陶 径43cm 高さ57cm

【略歴】

1954年 八王子市に生まれる

1976年～1986年 栃木県益子町で陶芸を学ぶ

1995年～ 横浜市旭区の白根窯陶芸教室講師

【教室作品展】

1998年、2001年、2003年、2005年

二俣川サンハートアートギャラリー



準大賞 「淹」と「進」：青野千穂

陶 20 × 20 × 20 cm 3 個組

【略歴】

1974 年 横浜市に生まれる

1997 年 多摩美術大学美術学部絵画科油絵専攻

陶芸コース卒業 福沢一郎賞

1999 年 多摩美術大学大学院美術研究科陶芸専攻修了

【個展】

1999 年 2000 年 なびす画廊

2001 年 トキ・アーツスペース

2002 年 「めぐりの法則」 exhibit [LIVE I]

2003 年 「若き画家たちからのメッセージ受賞展」 すどう美術館

2004 年 「垂」 exhibit [LIVE II]

【グループ展】

2003 年 「百年の賞楽 玉」 exhibit [LIVE]

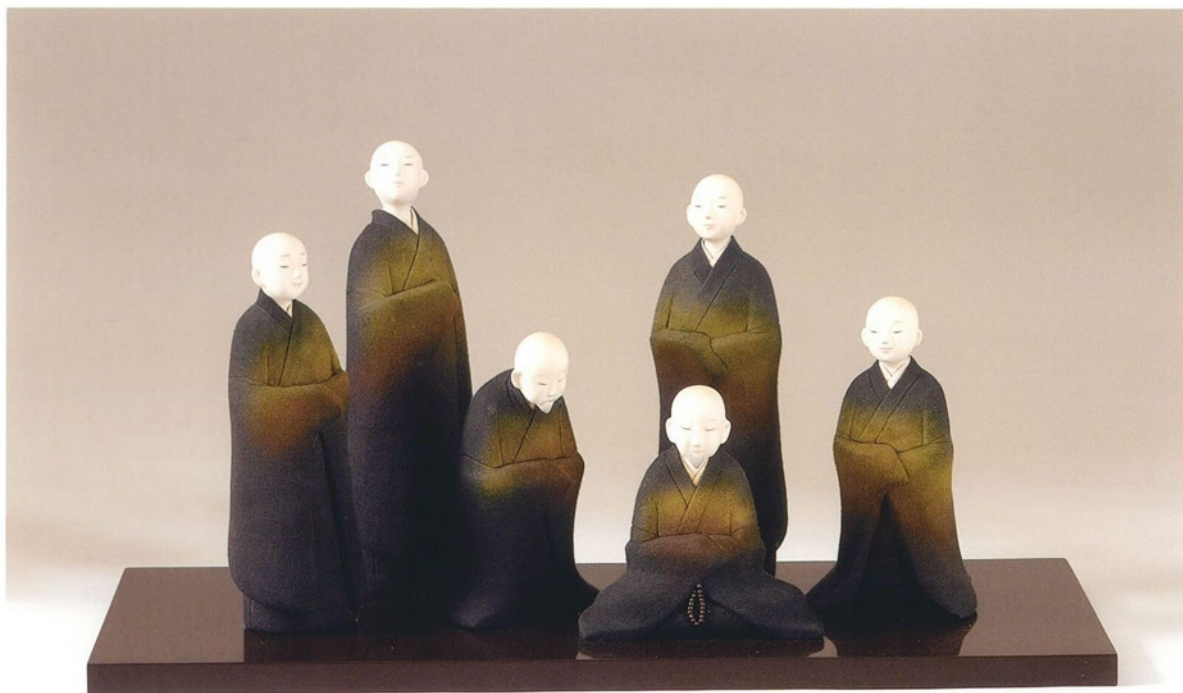
「若き画家たちからのメッセージ」すどう美術館

2005 年 「WAVE AGE」 すどう美術館

「Preference」 SAN - AI GALLERY

【出品歴】

2005 年 国際陶磁器フェスティバル美濃 '05 入選



特選 暁の祈り：亀田 裕延

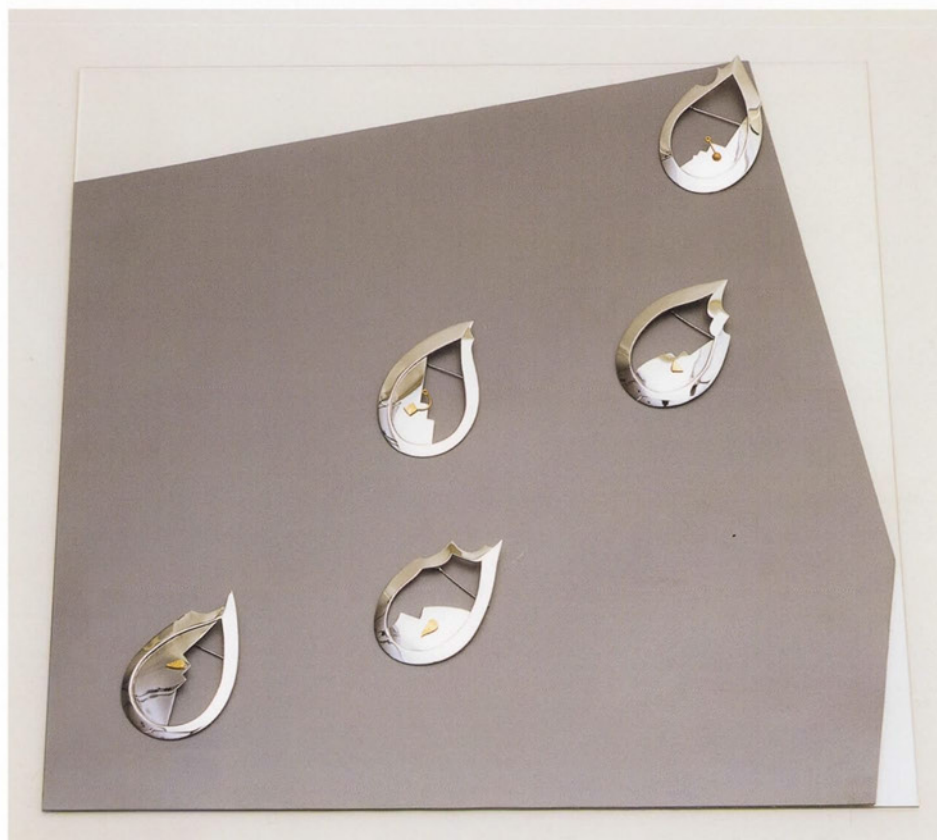


特選
フィナーレ：白井 さかえ



特選

星雲：後藤 なおみ



特選

涙の想い：亀井 知子



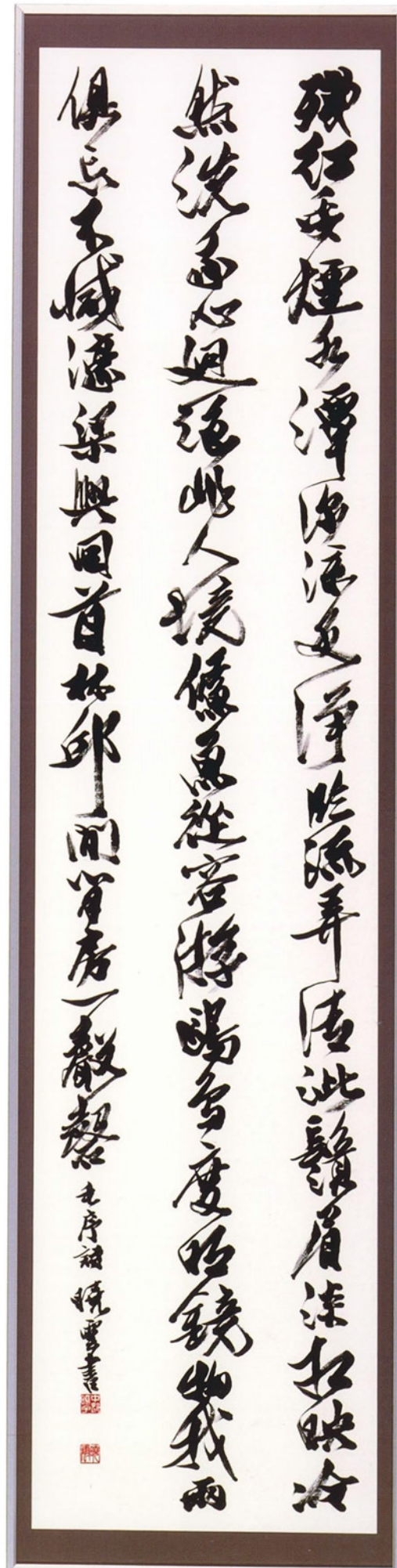
美術奨学会賞 希（のぞみ）：今林 三恵子



美術奨学会賞 花器 魚水（close friendship）：香取 孝彦



大塚学院賞 めいとり紋織 海の結晶：大久保 静香



大賞

毛序詩：中村 曉雲

240 × 60 cm

[略歴]

1941年 横須賀市に生まれる

1952年 関岡雲林に師事

1986年 川口流坡に師事

読売書法展 秀逸3回

県美術展 入選5回



準大賞

いのちもて：森廣青寿

240 × 60 cm

〔略歴〕

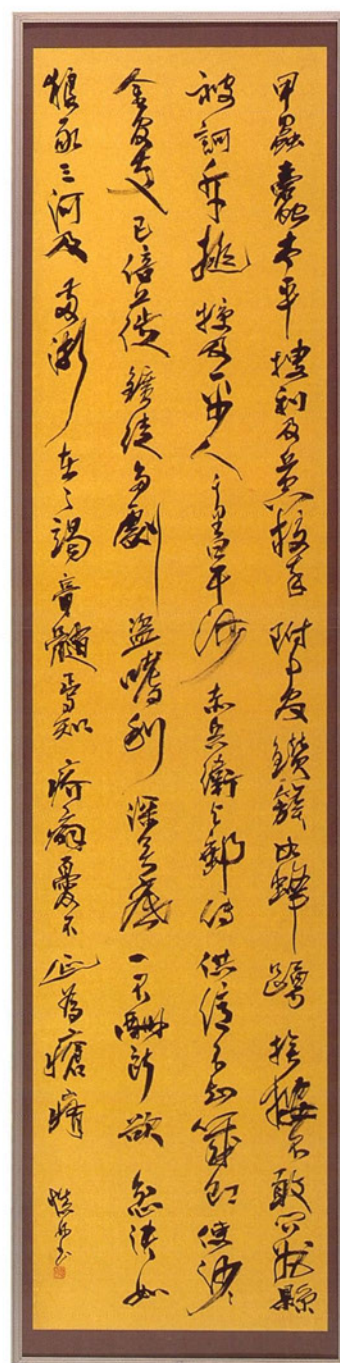
1953年 横浜市に生まれる

荒井青莊に師事

毎日書道展会友

日本書道美術院 教育部審査員

光荘会師範



特選

猛虎行：鶴岡 慎舟



大賞 原宿寸描(2枚組)：古郡 和敏

〔略歴〕

1941年 茅ヶ崎市に生れる
 1987年 第43回ハマ展 教育委員会賞
 1988年 第44回ハマ展 協会賞
 1990年 第26回神奈川県美術展 特選
 1994年 第30回記念神奈川県美術展 美術奨学会賞

2000年 第23回神奈川県報道写真連盟公募展 大賞
 2004年～ 神奈川県報道写真連盟 副理事長



準大賞 想い出の島：小山田幸雄

〔略歴〕

- 1952年 東京都に生まれる
- 2002年 GALEIE GRAND PARIS 第2回フランス・パリ写真コンクール 入選
- 2004年 第54回藤沢市展 写真部 協会賞受賞
第3回カメラの大和フォトコンテスト 出品
湘南くじら館企画展「親子三代写真展」ギャラリー守門
- 2005年 第56回鎌倉市展 写真部 出品
第55回藤沢市展 写真部 出品
第4回カメラの大和フォトコンテスト 出品
湘南くじら館企画展「湘南…休日さんぽ」どんぐり工房ギャラリー



特選

花と道具 (5枚組) : 原田 健児



特選

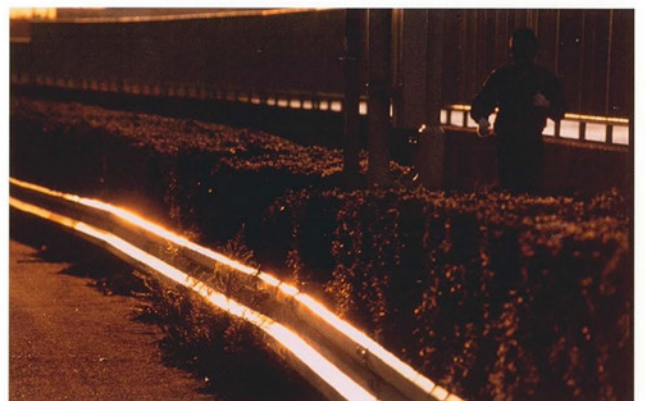
光ファンタジー (3 枚組) : 落合 知子



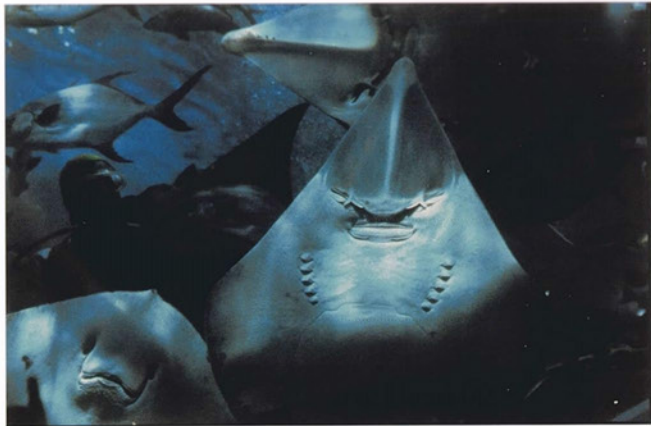
特選 朝の光 : 市川 洋子



特選 海遊：今野 良一



特選
放光 (3 枚組)：長尾 宏



特選
 遊泳(3枚組): 奥田 恭子



美術奨学会賞 海岸通りの八百屋: 市川 雅章



美術奨学会賞

消えない記憶(4枚組)：渡部 満



ニコン賞

五月ばれ：渡辺 脩子

市町村別出品者一覧

	平面	立体	工芸	書	写真	合計
横 浜 市	100	15	75	123	153	466
川 崎 市	24	7	19	18	20	88
横 須 賀 市	13	2	9	16	8	48
藤 沢 市	12	2	6	11	12	43
茅ヶ崎市	8		4	4	4	20
平 塚 市	7		11	3	7	28
鎌 倉 市	19		14	12	8	53
逗 子 市	4		4	2	1	11
三 浦 市	1				4	5
相 模 原 市	23	13	7	25	6	74
厚 木 市	6		10	2	1	19
大 和 市	2	1	1	1	3	8
伊 勢 原 市	2		1	3	1	7
秦 野 市	6		3	1	4	14
座 間 市	6	2	6	2	2	18
海 老 名 市	2	1	1	3	4	11
綾 瀬 市	1		1	2	2	6
小 田 原 市	4	1	6	4	2	17
南 足 柄 市			2		1	3
葉 山 町	1		1	1	2	5
寒 川 町	1		4			5
大 磯 町	1		1	1		3
二 宮 町			1	1	1	3
中 井 町						
大 井 町						
松 田 町						
山 北 町	1					1
開 成 町	1		2			3
箱 根 町						
真 鶴 町						
湯 河 原 町				2		2
愛 川 町			1			1
城 山 町	1					1
津 久 井 町			1			1
相 模 湖 町						
藤 野 町						
清 川 村						
県 内 計	246	44	191	237	246	964
東 京 都	12	6	7	3	3	31
その他都道府県	4	3	1	1		9
県 外 計	16	9	8	4	3	40
合 計	262	53	199	241	249	1004

市町村別入選者一覧

	平面	立体	工芸	書	写真	合計
横 浜 市	31	5	39	83	59	217
川 崎 市	7	2	11	8	10	38
横 須 賀 市	5		4	10	4	23
藤 沢 市	1	2	4	7	8	22
茅ヶ崎市	4		2	3	2	11
平 塚 市	3		4	2	4	13
鎌 倉 市	7		5	9	4	25
逗 子 市	1		2	1		4
三 浦 市					2	2
相 模 原 市	14	3	4	15	2	38
厚 木 市	4		5		1	10
大 和 市	1	1	1	1	2	6
伊 勢 原 市			1	3		4
秦 野 市	1		3	1	2	7
座 間 市	3		4	1	2	10
海 老 名 市	2		1	2	1	6
綾 瀬 市	1			2	1	4
小 田 原 市			3	2	1	6
南 足 柄 市			1			1
葉 山 町				1	1	2
寒 川 町	1		2			3
大 磯 町			1	1		2
二 宮 町			1	1		2
中 井 町						
大 井 町						
松 田 町						
山 北 町						
開 成 町			1			1
箱 根 町						
真 鶴 町						
湯 河 原 町				1		1
愛 川 町			1			1
城 山 町						
津 久 井 町			1			1
相 模 湖 町						
藤 野 町						
清 川 村						
県 内 計	86	13	101	154	106	460
東 京 都	7	3	5	3	1	19
その他都道府県	2	2	1	1		6
県 外 計	9	5	6	4	1	25
合 計	95	18	107	158	107	485

出品点数一覧表

	平面	立体	小計	工芸	書	写真	小計	合計
人数	262人 (95)	53人 (18)	315人 (113)	199人 (107)	241人 (158)	249人 (107)	689人 (372)	1004人 (485)
点数	408点 (96)	56点 (18)	464点 (114)	247点 (107)	241点 (158)	822点 (169)	1310点 (434)	1774点 (548)

※（ ）内は入選者数と入選点数

大賞受賞者

第1回	昭和40年度	大森 運夫『九十九里』日本画	第26回	2年度	山本 靖久『時の化石―豊沃のかたち』洋画 高橋あづま『遥かなる亜熱帯』工芸
第2回	41年度	廣瀬 義男『作品Ⅰ』洋画	第27回	3年度	荒井 正美『蟻の迷走』彫刻 相沢 順一『樹界』写真
第3回	41年度	垣内 治雄『坐る』彫刻	第28回	4年度	たべけんぞう『MAGNETIC FIELD92-2』立体造形 中森 万象『郎士元詩』書
第4回	43年度	川村 直子『'69-A・'69-B』洋画	第29回	5年度	王 青『チベットの娘』日本画 平野 朱美『電解ザウルス』工芸
第5回	44年度	山井イク夫『Laby70-1・2』立体造形	第30回	6年度	辻 忍『野辺』彫刻・立体造形 八木 香葉『笹澤光明詩 菊』書
第6回	45年度	伊藤 彬『天涯巡礼』日本画 大久保利図『Straw』工芸 西川 万象『盧子諒詩』書 加賀谷武男『にっぽんNONSENSE ZONE』写真	第31回	7年度	R 津田『封印―過去と未来―』彫刻・立体造形 中田 文『阿弥陀堂釜』工芸
第7回	46年度	中西新太郎『落日』洋画 島津 碧崙『寒山詩』書 大谷 正夫『師ミス・ザンダー(フェリス女学院)』写真	第32回	8年度	結城 勉『個々の領域―群像Ⅰ』平面・立体 今井今日子『Twilight―黄昏―』工芸 中西 雅舟『百人一首より』書 中谷 晴男『山の民(ネパール)』写真
第8回	47年度	佐々木英夫『人間の風景Ⅰ・2』版画 林 良達『騎士』工芸	第33回	9年度	鶴持 啓子『SANAGI―予兆』平面・立体 村田 則子『レクイエム』工芸 島田 幸舟『白鳥』書 渡部 満『1.8朝』写真
第9回	48年度	河原 明『蜻蛉』彫刻 石川 充宏『Girl in chair』工芸	第34回	10年度	笹井 弘『動植物』平面立体 堀口 成依『MI! きみ想う』工芸 大岸 昌子『源氏物語』書 君塚 宣良『還暦を迎える階段』写真
第10回	49年度	大山 鎮『語り』日本画	第35回	11年度	川田 祐子『BIO-PANORAMA』平面立体 斉藤 龍也『白化粧象嵌花器』工芸 稲葉 竹苑『観雨』書 林 京子『午後の街』写真
第11回	50年度	鎌田 恵子『Lost my way』工芸	第36回	12年度	川城 夏未『BALANCE 2000 No.1』平面立体 [BALANCE 2000 No.2] 深瀬知嘉子『陰翳』工芸 松原 隆『白の風景』書 吉田 陽子『最後の楽園(ガラパゴス)』写真
第12回	51年度	泉谷 淑夫『愁傷のモニュメント』洋画	第37回	13年度	小林 秀幹『静かな流れの中で』平面立体 羽鳥 恵子『彩泥象嵌鉢』工芸 和田 清泉『花にのる』書 福田 幸子『女瞳私1.2.3. (NUDE)』写真
第13回	52年度	井上 麦『黒の女・77』彫刻	第38回	14年度	高梨 裕理『水面』平面立体 三輪 博子『河』工芸 栃木 郁子『田中冬二の詩』書 嶺岸 良太『far away―いつか置いてきたものⅠ-V』写真
第14回	53年度	坂田 一之『MIRROR』立体造形	第39回	15年度	井上 達也『植勢Ⅱ』平面立体 小田中 藍『「おやすみ」とは言っても…」工芸 幡野 恵子『論語』書 金親 敏雄『都市幻影』写真
第15回	54年度	前本 利彦『暗い部屋Ⅰ,Ⅱ』日本画 川口 流坡『菅原道真詩』書	第40回	16年度	坂本 友里『ゆめのかず』平面立体 大槻 洋介『孔』工芸 古屋恵美子『田部井花子の歌』書 内藤 秀和『沈黙の機関(第五福竜丸エンジン)』写真
第16回	55年度	和久井Who『HANGING』立体造形 市原 欣一『ふるさと』写真	第41回	17年度	三原奈津子『IN MY CLOSET <melting times>』平面立体 尼子 裕美『EXODUS』工芸 中村 暁雲『毛序詩』書 古郡 和敏『原宿寸描(2枚組)』写真
第17回	56年度	坂井 彰夫『SEISHO』彫刻 高木 参平『BODY』工芸			
第18回	57年度	小泉 正彦『冬の木』洋画 井上 隆敏『イグナドバ選手』写真			
第19回	58年度	井上 麦『土の系譜』彫刻 茶木 静谷『竹霊松影』書			
第20回	59年度	東谷 武実『日蝕F』版画 西 雅秋『CASTING VIEWPOINT』野外彫刻 林 亘『クリスタル大鉢“洞”』工芸			
第21回	60年度	鶴見 厚子『夢の質感』洋画 石渡 四郎『硫黄島の再会』写真			
第22回	61年度	会田富二男『駆けゆく母子像』彫刻 浜本 舛舟『良寛詩』書			
第23回	62年度	高橋 洋子『WAVE (BLUE FENCE)』立体造形 森山 可余『俳句(原石鼎)』書			
第24回	63年度	三枝 孝司『複製された場所』版画 管間ゆみい『夢印象』工芸			
第25回	平成元年度	セツ・スズキ『アンタニハワカルメ』彫刻 片岡 順一『大気現象』写真			

もっと近くに、ずっと一緒に。

Ladies' Fashion

アリス (レディスファッション・2F)
エステイー (レディスファッション・1F)
ギブ (レディスファッション・2F)
源美 (レザーファッション・2F)
コレクションズS (レディスファッション・1F)
サントレ (レディスファッション・1F)
ジパング (レディスファッション・1F)
スパイス (カジュアルファッション・1F)
ハートフル (レディスファッション・2F)
フォーユー (レディスファッション・2F)
ブラックキャット (レディスファッション・3F)
ブルーム (レディスファッション・1F)
ミュゼ 21 (アンティーク&輸入ファッション・1F)
ラグナ ブルー (レディスファッション・3F)
ロブ (ブラウスショップ・1F)

Goods

銀座重紀枝 藍の店 (刺し子・3F)
ウインク (アクセサリー雑貨・2F)
ザ・ベイスターズ (キャラクターグッズ・2F)
シーズ (ハウス雑貨・3F)
ストロベリードラッグス (ドラッグ&コスメティックス・1F)
高正パピエ (ランジェリーショップ・1F)
100円プラザダイソー (100円ショップ・2F)
ベル・ビジュ (ジュエリー・1F)
芳林堂書店 (ブックス・3F/4F)
有隣堂ミュージックショップ (楽器/楽譜/音楽教室・3F)
ヴィ・ゼータ (フラワースタジオ・1F)
ルビーティ (貴金属・アクセサリー・3F)
ロンド自由ヶ丘 (シューショップ・2F)

Foods & Liquors

銀座コージーコーナー (洋菓子・1F)
横浜 天信 (弁当/惣菜・B1F)
スーパー トップ (スーパーマーケット・B1F)
フードランド (リカーショップ・B1F)

Cafe

トラベルカフェ (喫茶・1F)
喫茶室 銀座ルノアール (喫茶・M2F)

Restaurant & Bar

魚民 (のみくい処・7F)
カウベル (カラオケ&バブ・12F)
遊食場 吉吉 (創作ダイニング・6F)
串の矢 (串料理・6F)
神楽食堂 串家 (串揚げバイキング・6F)
黒潮亭 (活魚居酒屋・6F)
さっぽろ亭 (ラーメン/中華・B1F)
三 熙 (中華料理・6F)
食の楽園 (海鮮しゃぶしゃぶバイキング・11F)
聚楽苑 (焼肉・6F)
素材屋 (旨いもの倶楽部・12F)
ヤンキース (スポーツカフェ・6F)
夢屋歌之助 (カラオケ・7F)
リトルダーリン (オールディーズライブハウス・11F)

Service & Culture, etc

アビバ (日本パソコン学院・8F)
ウォークオーバー (携帯電話・1F)
占いコーナー (占い・6F)
M.Mリフォーム (洋服リフォーム&クリーニング・3F)
カラダ・ファクトリー (整体・カイロプラクティック・足裏専科・2F)
関内 本因坊 (囲碁サロン・9F)
月桃荘スタジオ (クリエイティブハウス・12F)
セルテ賃貸情報館 (不動産仲介・2F)
たかの友梨ビューティクリニック (エステティック・3F)
刀苅歯科医院 (デンタルクリニック・4F)
ネイル・シャイニー (ネイルサロン・2F)
NOVA (英会話・9F)
のんびりんこ (中区子育て広場・9F)
ビューティ田沢 (総合美容室・4F)
横浜B.B.ストリート (ストリートライブハウス・12F)
ロゲン (理容室・M2F)
ロッキー (靴修理・合鍵・B1F)
W.A.S.ワールドエアシステム (格安航空券・9F)

Art

ギャラリーセルテ (レンタルギャラリー・3F)
関内アートスクール (アートスクール・9F)
せんたあ画廊 (ギャラリー・3F)
(株)美術著作権センター (9F)

平成17年8月1日現在

Precious for you
CERTE
<http://www.certe.gr.jp>

プロのために、
プロの品揃えです。



 有隣堂

画材／書道用品／製図デザイン用品コーナー

■本店文具館 イセザキ町・本店文具館4F・5F…TEL.(045)261-1231

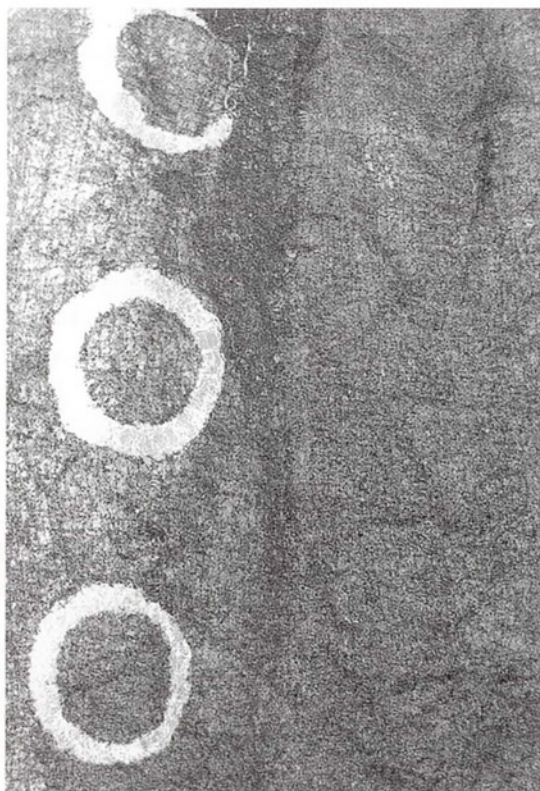
■藤沢店 藤沢駅南口名店ビル2F……………TEL.(0466)26-1411

■厚木店 小田急線・本厚木駅前……………TEL.(046)223-4111

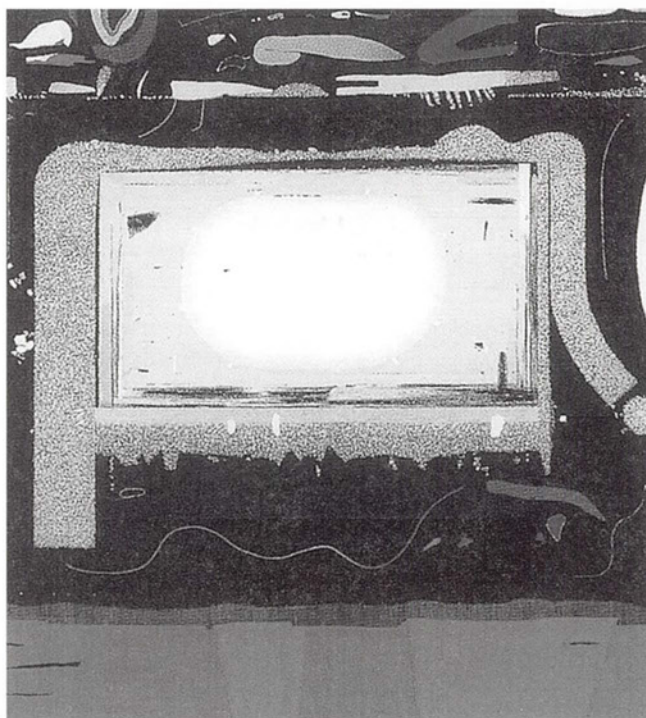
※藤沢店は書道用具・日本画材のみ取り扱っております。

有隣堂ギャラリー〈イセザキ町・本店書籍館B1〉

布の未来を創る



帯瀬由紀子
ジャパンクリエーション2005
燃糸部門賞



平野朱美
第36回日展
入選

資料・願書無料送呈

学校見学随時

◎入学願書受付 推薦入学 10月1日～1月31日
一般入学 11月1日～3月31日

◆学科構成◆

テキスタイルデザイン科 (昼3年)
工芸染織科 (昼2年)
友禅染色コース
伝統織物コース
プリンティングデザイン科 (夜2年)
ウィービングデザイン科 (夜2年)



大塚テキスタイルデザイン専門学校

(姉妹校) 大塚末子きもの学院 大塚情報処理専門学校

〒160-8560 東京都新宿区須賀町10番地 ☎03(3357)3671 FAX 03(3226)9745

URL: <http://www.otsukagakuin.ac.jp> E-mail: info@otsukagakuin.ac.jp

ケータイでも資料・願書請求、学校説明会申込可。 <http://www.otsukagakuin.ac.jp/k>

オリジナル

原画の魅力と感動をいつも身近に

Digital
Art
Graphy

複製版画の世界で革新的な手法として確立！ 思わず手で触れてみたくなる仕上り！

デジタルアートグラフィは、美術品級としてすでに世界で認知されているジークレー技法の一つに位置付けられます。ジークレー（ジクレ）とは、フランス語で噴射技術による色付けを意味し、新しいデジタル技術により確立された技法です。当工房は、これに国内初の設置・運用となるドイツ製最新鋭の超高精細美術専用スキャナー（FAS）を導入し、独自の複製手法「デジタルアートグラフィ」を確立いたしました。

FASと高精細インクジェットプリンターによるフルデジタル方式のため、色の再現性に優れ、油絵の重量感や水彩画の透明感、紙の質感までもが見事に表現されます。これまでのジークレーでは再現できない期待以上の仕上りに思わず手で触れてみたくなるほどのです。

最大で1,500mm×2,250mmまでフルデジタル対応 油絵具のボリュームやコラーージュなどの立体感を表現

デジタルアートグラフィは、原画の持つあらゆる色彩や階調表現を忠実に再現するために、原画を直接、FASによりデジタルデータとしてコンピュータに取り込み、それらを精密に色解析・色校正し出力を行っております。従来のフラットベツスキャナやドラムスキャナでは対応できない大きな原画（最大で1,500mm×2,250mmまで）や最大150mmまでの厚さの立体物を問題なくスキャンすることが出来ます。1,500mm×2,250mm以上の大きさの場合は分割スキャンいたしますので、ご相談ください。これにより、従来のジークレー技法では、表現しきれなかった油絵具のボリュームやコラーージュのような凹凸のある立体感を忠実に表現することが可能となりました。

2,880dpiの高解像度と8色インクによる 400万色を超える色の表現が可能

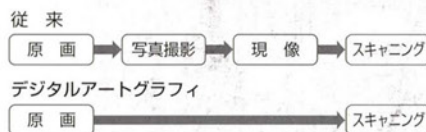
高精細インクジェットプリンターにより、画質は2,880dpiという驚異的な超高密度で、インクの微粒子が吹き付けられます。8色インクにより、最大で400万色を超える色の表現が可能ですので、美術品としての高級感を損なわずに出力することが可能です。

出力サイズは、最大でB0（1,030×1,456mm）まで可能であり、オリジナル作品の拡大・縮小も思いのままです。

使用できる出力素材は、マット紙や光沢紙から絵画で使われている中性水彩画用紙やキャンバス地、和紙と多彩ですので目的・用途に合わせた出力素材の選択が出来ます。

超高精細美術専用スキャナー（FAS） による直接分解で、従来の写真撮影工程を省略

わざわざご自分のオリジナル作品を絵画専門の写真ラボに持ち込んで撮影しポジフィルムに焼き直す必要はありません。原画を当工房にお持ち込みいただければFASにて直接デジタルデータにいたします。



複製品のサイズにかかわらず1枚から受注可能、 在庫として管理する必要はありません

一度分解された原画のデジタルデータは当工房で管理させていただきますので、必要な時に必要な枚数だけご注文頂けます。まとめて大量発注して、後で在庫を管理しなければならないという事態を心配する必要はありません。

耐光性70年、耐オゾン性30年の高保存性

使用するインクは、空気中の光やオゾンに分解されにくく耐光性70年、耐オゾン性30年を実現。顔料インクの特徴そのままに優れた保存性で美しい複製版画を美しいまま長期間残せます。また、耐水処理を施す事により腐蝕性、防カビ性にも対応しております。

* 耐オゾン性：空気中の酸素に対する耐久性

Giclee Fine Art Studios [ジークレー版画工房]



株式会社 **ハシモトコーポレーション**

本社／〒229-1112 神奈川県相模原市宮下2-11-4 TEL.042-774-0081(代) FAX.042-774-0019 E-mail:info@hashico.co.jp
URL:http://www.hashico.co.jp

営業品目／企画立案・デザイン・編集・オフセット印刷全般・カタログ・ダイレクトメール・ポスター・パンフレット・カレンダー・封筒全般・書籍・カラープロセスその他各種印刷関連業務DTPサービス・スキャン・フィルム・印画紙出力・カラープリント・モノクロプリント・オンデマンド印刷・CD-R焼付け・ホームページ作成

※弊社3Fギャラリーにてジークレー複製版画作品を常時展示しております。

第41回神奈川県美術展 関係者名簿

(平成 17 年 9 月 7 日現在)

神奈川県美術展委員会

委員長 副委員長

原 範行 藤井 稔

委員

相笠 昌義	岡 信孝	草薙奈津子	酒井 忠康
村井 進吾	和田 守弘	金子 賢治	永井鐵太郎
川口 流坡	仙場 右羊	大河原雅彦	村岡 秀男
二見 研一	三角 秀行		

審査員

平面立体

磯見 輝夫	太田 泰人	岡 信孝	草薙奈津子
嶋 剛	辰野登恵子	村井 進吾	

工芸

赤堀 郁彦	荒木 俊雄	安齋 蒼慶	猪俣伊治郎
金子 賢治	永井鐵太郎	前田 金彌	

書

生尾慶太郎	石川 芳雲	石原 太流	川口 流坡
齊藤 紫香	春山 右濤	室井 玄嶺	

写真

江成 常夫	大河原雅彦	木村 恵一	河野 和典
土田ヒロミ	浜口タカシ	村岡 秀男	

The 41th Kanagawa Art Exhibition 2005

第41回神奈川県美術展

発行：神奈川県美術展委員会

神奈川県民ホール ギャラリー課内

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1

TEL.045-633-3687

写真撮影：渡辺まこと

印刷：(株)ハシモトコーポレーション

発行：2005年9月7日

神奈川県美術展委員会
神奈川県民ホール（財）神奈川県芸術文化財団
神奈川県